

うちの子(三歳半)に今までかなを教えたが少しも覚えてくれない。こんな子に漢字がほんとに覚えられるものでしょうか。

覚えられます。かなは一年かけて教えたのに一字も覚えなかった脳障害の三歳児が、一年間に二百の漢字を覚えました。(小学生でも一年間に二百字の漢字を学習する学年はありません)

なぜ幼児期は漢字をよく覚え、かなは覚えられないかと言いますと、記憶が“関心”の有無とその深さによって左右されるからです。「心ここにあらざれば、見れども見えず。聞けども聞こえず」と言われている通り、全く関心のないことには、頭がこれを受け付けませんから、記憶できるわけがないのです。

かなは、“あ”とか“い”とか、単なる音声を表わす文字で、こういう文字は、幼児にとっては興味のうすい、従って関心のもてないものです。だから、頭がこれを受け付けないので覚えられないのです。「むずかしいから覚えられない」のではなくて、「関心がないから覚えられない」ということを知って下さい。

漢字は目で見える言葉ですから中味があります。その中味が幼児の

好きな物だったら、その漢字に対する関心は非常に強くなります。関心が強いと、その記憶も強まり、ちらっと見ただけでも覚えられています。

学習は階段を登るように、低い(やさしい)所から一段一段高い(むずかしい)所へ導くのが原則です。だから、子どもが最も好きな物を表わした漢字から教えていくことが大切です。苺の好きな子に「これは“いちご”という字よ」と教えてやれば、十秒間でこれを頭に納めてしまうでしょう。

記憶の第一原理が“関心”なら、第二原理は“反復”です。一日に数回、数秒間でよいから教えてやって下さい。次の日「これ何ていう字？」と尋ねれば、「いちご！」という答がきっと返ってくるでしょう。